



マンガでわかる LGBTQ+

(パレット・W・著)

<「この本のまとめ」より>

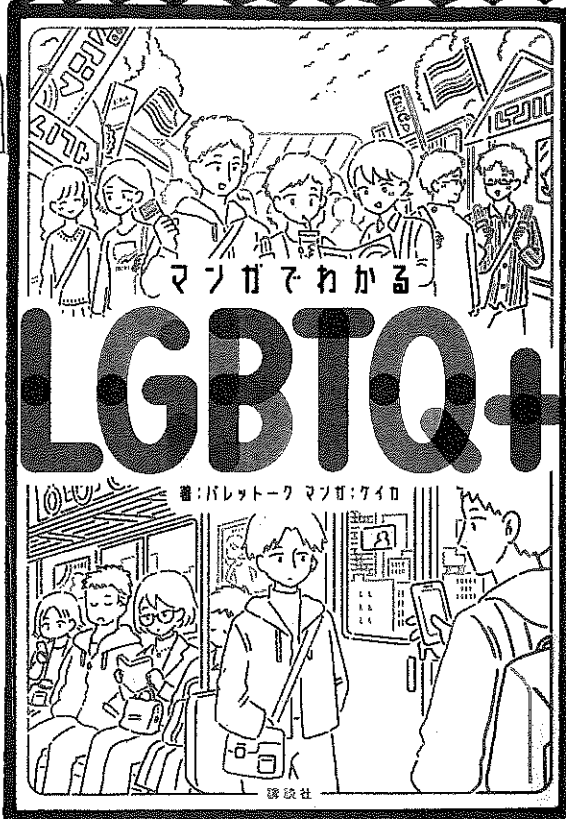
- ①. 性はグラデーションになっている。
- ②. SOGI はみんなが持っている。
- ③. 大切なのは、セクシュアリティではなく、
「その人自身」。
- ④. 「知ること」は、差別を減らす第一歩。
- ⑤. みんなが考えることで、世界は少しずつ

変わっていく……!



世の中には、自分では、どうにもならない、「こまりごと」をかかえた人がいます。このお話の主人公、フミヤさんは、食べ物を口に入れたときの感覚や、身の周りの音の聞こえ方が、人とは違う、などの特性を持っています。もし、きみのそばに感じ方が人とは違い、苦しんでいる子がいたら、まずは、その子の「こまりごと」を、しっかりと聞いてその子の気持ちになってみましょう。きっと、いいアイデアがうかぶはずです。

ここにご紹介する本、3冊は新着本です!



「知らなかった」
を言い訳にして
誰かを傷つける
時代を——
終わらせよう

イマサウ聞けない
LGBTQ+の
ギモンに答える
入門書!

ころべば いいのに (ヨシタケシンスケ)

(内容紹介). きらいな人がいてもいいじゃない!
イヤな気持ちで、自分ではどうしようもないどしゃぶりの
雨のようなもの。そんなときはね……!
ヨシタケシンスケ流 こころの処方箋。

ひかり、あじ、おとがイタイムです。
(フミヤ、語り 今津良樹、絵)

ふっうって
なんだろう?



7月のテーマ. 本の中に夏をさがそう……

図書館内にコーナーを作りました。ぜひ見てくださーい!

ある晴れた夏の朝 (小手鞠るい)

ぼくたちにとって「原爆」とはなんだったのか?!
(ストーリー). アメリカの高校に通う15歳のメイは、先輩たちから、夏休みにおこなわれる公開討論会への参加を求められます。テーマは、広島・長崎に落とされた原子爆弾の是非について。肯定派、否定派、それぞれのメンバーは、日系人のメイのほか、アイルランド系、中国系、ユダヤ系、アフリカ系と、そのルーツはさまざま。果たして、どのような議論がくりひろげられるのか。

そして、勝敗の行方は?

夏といえば、暑い→汗ばっしょり
→お風呂が気持ちいい!!!

京都銭湯図鑑 (大武千明)

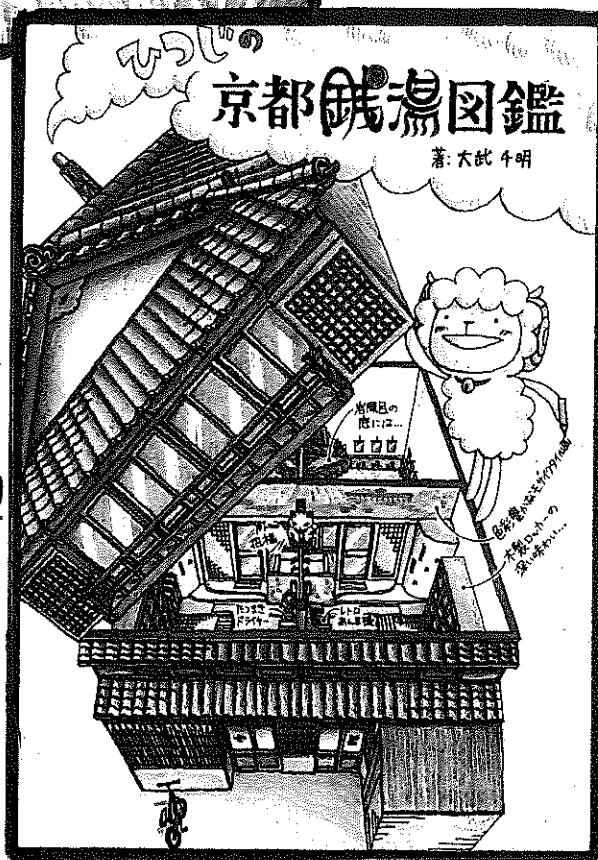
本の中を、ちょこっとのぞいてみると……

(コラム)~ 京都の水の恵み

京都には豊かな地下水脈がある。たとえば、「衣」の分野では友禅染。「食」は、日本酒や豆腐、湯葉など。「住」は、銭湯です! やわらかい水質は肌や髪によく、また水温が一定なので、冬でも夏と同じ水温の水風呂を楽しめます。

「目次」より……

- 昔ながらの京都の銭湯。
- タイルを楽しめる銭湯。
- 浴槽が特徴的な銭湯。
- 個性的! 生き物に会える銭湯。などなど。



アイスクリン強し (畠中恵)

(あらすじ). お江戸が東京へと変わり、ビスケット、アイスクリン、チョコレートなど西洋菓子が次々お目見え。築地の居留地で孤児として育った皆川真次郎は、急願の西洋菓子屋・風琴屋を開いた。今日もまた、甘いお菓子目当てに元幕臣の警官たちがやってくる、あれやこれやの騒動が……。キュートな文明開化物語。

